

Poly-Glu Rescue

水質浄化剤ポリグルレスキュー (PGα21Ca) を使用した生活用水の供給

自然災害などの非常時に水質浄化剤“ポリグルレスキュー”を用いた水質浄化方法により、汚れた水（川、池、井戸水など）を浄化し、生活用水として使用できるようにします。浄化方法は、災害地で利用することを考慮し、動力や機械を必要とせず、人の手で簡単に浄化できる方法を第一に考えました。

準備いただくもの

- 取扱説明書（本書）
 - ポリグルレスキューと付属の計量スプーン
 - バケツなどの容器
 - かき混ぜ棒
 - ザルまたは底に小さな穴のあいた容器（中に布や綿を入れ、ろ過器として使用します。）
 - 布または綿（ろ過用に使います。できるだけ清潔なものをご使用ください。）
- ※ ご使用には有害物質を含まず、魚などの生物が生息できる程の安全な水をお使いください。
また、工場廃水や生活廃水、海水（塩分の除去はできません）のご使用はおやめください。

水質浄化の手順

1

川や池の水をバケツに入れます。



2

水を素早く攪拌（かき混ぜ）ながら、所定量のポリグルレスキューを少しずつ加えます。水の汚れが固まってくるのが確認できたら、ポリグルレスキューの投入を止めてください。

※10リットルの水に対して
付属の計量スプーン1杯
程度（1グラム）
が目安です。



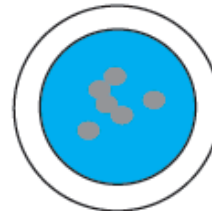
3

汚れの固まり具合により、さらに5分程度、ポリグルレスキューと水がよく混ざり合うように攪拌します。



4

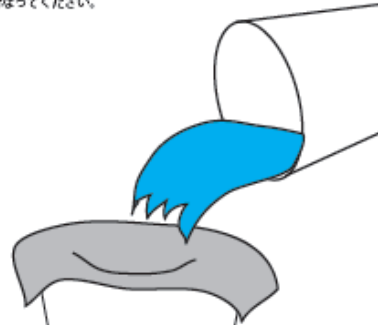
攪拌をやめて、汚れが沈むまで待ちます。



5

汚れが沈んだら上澄みを取り、布や綿などをザル（または底に穴があいた容器）に敷いてろ過します。ろ過に用いる布や綿を重ねることでよりきれいな水を得ることができます。

※上澄みを取り出す際にはバケツの底に沈んだ汚れのかたまりを避けてろ過を行ってください。





Poly-Glu Rescue を安全にお使い頂くための注意

下記はポリグルレスキューを用いた処理、また取扱上の注意点です。よくお読みになってからご使用頂きますよう、お願いいたします。

ポリグルレスキューを用いた処理の際の注意点

- 汚れが固まらない場合は、ポリグルレスキューの量が十分でないと考えられます。汚れが固まるまで、水を攪拌し、少しずつポリグルレスキューを追加してください。
- ポリグルレスキューの添加量が、あらかじめ分かっている場合は、一度に加えて浄化することもできます。その場合もポリグルレスキュー添加後は、必ず十分に攪拌を行なってください。
- ポリグルレスキューを加えすぎると水が白く濁りますので、ご注意ください。
- 処理の際に発生した汚れの固まりはゴミとして廃棄してください。

ポリグルレスキューの取扱上の注意点

- ポリグルレスキューには殺菌能力はありません。したがって処理した水を飲用水とするためには、ポリグルレスキューで浄化後に**煮沸など、必要な殺菌処理**を行なってください。
- 不純物の一部は、完全に取り除けない場合がございます。**生活用水供給において、有害物質が含まれている可能性がある水へのご使用は危険を伴うため、絶対におやめください。**
- 食べ物ではありません。口に入れないでください。また乳幼児の手に届かないところに保管してください。
- 目や口に入った場合は、すぐに洗い流すなどの処置を行なってください。万一、異常を感じた場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- ポリグルレスキューは**塩分を取り除くことはできません。**
- ポリグルレスキューは湿度や水分に弱いため、直射日光および高温多湿を避け、なるべく換気のよい涼しい場所で密閉の上、保管してください。
- 開封後は、密閉保存の上、なるべく早くご使用ください。

製品に関するお問い合わせ先



株式会社 ポリグルインターナショナル

〒540-0013 大阪市中央区内久宝寺町 4-2-9 ポリグルビル 4F TEL 06-6762-4132 FAX 06-6762-5688
URL <http://www.polyglu.net> E mail info@polyglu.net

池・水槽の浄化にご使用になる皆様へ

Poly-Glu Rescue 使用上のご注意

1. 当社の粉末凝集剤は、浄水の際の「攪拌」が非常に重要です。
2. 貯水量が 10 t を超える場合は、当社にご相談ください。
3. 貯水量 10 t までは以下の要領で浄化してください。
4. 棲息する生き物（魚や亀）には、次のような注意が必要です。

- フロック（汚れのかたまり）が魚のえらに入り、窒息死することがあります。
- 状況により、注意が必要な場合があります。

水環境が悪く、棲息している生物が既に危険な状況である場合は、一旦清水に避難させた上でご使用ください。

魚はデリケートなので、浄化剤で水環境が一変すると、ショック死することがあります。特に夏場の池の水温が 30 度を超している場合は、魚にストレスを与える場合があります。棲息する魚がすでに酸欠状態になっている可能性もありますので、十分にご注意ください。

また、暗い場所を好む魚（ナマズ類等）にもご注意ください。フロックの中に逃げ込むことがあります。

- なるべく仕切りを設け、分けしながらの浄化をお勧めします。
ポリグルレスキューの効果は、攪拌の精度で大幅に変わってきます。
概ね 1 t で 100 g の使用が目安です。
攪拌が十分であれば、それ以下の量でも効果が出る場合があります。
無害といっても、使用する浄化剤の量が少ないほど魚に与える負担は軽減されます。

※TV、新聞で浄化剤をホースで散布している様子が報道されています。

ポリグルタミン酸を溶かした溶液を散布する工法ですが、ポリグルタミン酸は食品添加物なので溶液化し、時間が経てば腐敗する特徴があります。当社では防腐剤を使用しない観点から当社が施工する以外は、市販は行っておりません。

※当社は水浄化について、常日頃さまざまな研究と経験を積み重ねております。

ポリグルレスキューおよび水質浄化に関するお問い合わせは、文書（eメール・FAX）でお願いします。その際、池や水槽の形状をお知らせいただければ、さらに適切で迅速な対応をいたします。



株式会社 ポリグルインターナショナル